

Tintri VMstore製品の富士通OEM版※であり、仮想化環境に理想的なストレージを実現する「ETERNUS TR820」を新規のお客様向けに **最大37%off**にてご提供します。

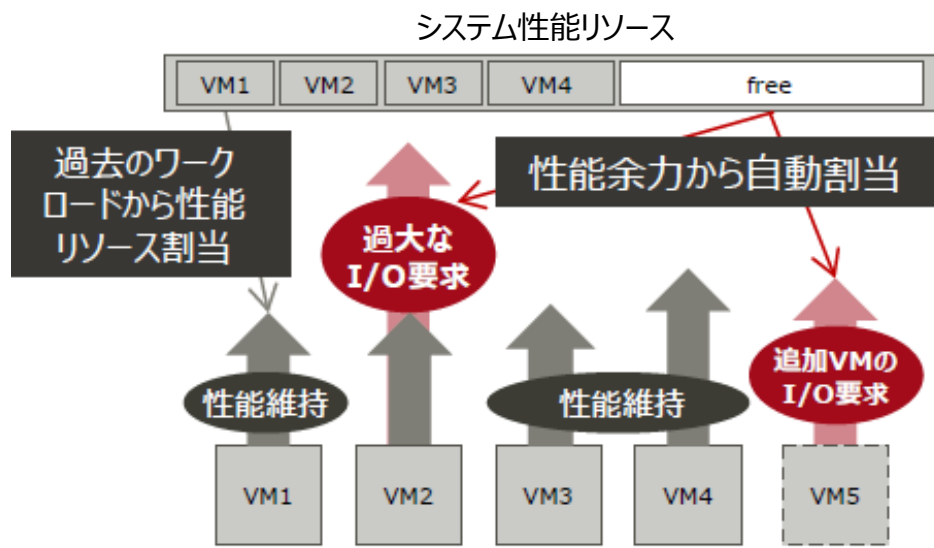
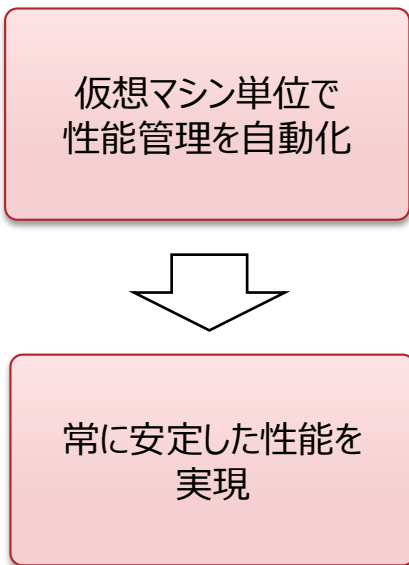


通常定価：14,978,000円 → **キャンペーン定価：9,351,000円**

※富士通は、Tintri VMstore製品を世界で唯一OEM提供しております。

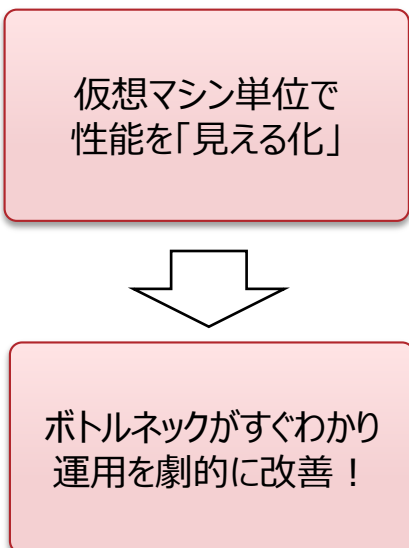
「FUJITSU Storage ETERNUS TR820」の主な特長

- 仮想マシン単位での性能管理を自動化することで、安定したパフォーマンスを実現



性能リソースを仮想マシン単位で自動割り当て

- 仮想化環境に特化した運用管理を実現



▼VM毎の性能情報：性能問題を抱えている仮想マシンの見える化



特定VMのレイテンシーを時系列で参照し、問題箇所(ホスト、ネットワーク、ストレージ)を切り分け

GUIで、簡単に原因特定！



その他の特長（富士通OEM版の付加価値）

富士通独自の日本語ドキュメントにより適切な情報やサービスを提供

富士通独自の評価・テストにより高い品質をご提供

国内最大規模のサポート体制でお客様システムの安定稼働を実現

製品を熟知した富士通の技術者により、トラブルには迅速に対応

キャンペーン製品情報



ETERNUS TR800 series
(HDDとSSDのハイブリット構成)

モデル名	TR820
IOPS※1	35,000
実効容量	10.5TB※2 ~ 23TB※3
サポートVM数	750
消費電力(通常時)	600W
ラックスペース	4U
拡張性	ベース装置の追加
キャンペーン定価※4	9,351,000円~ (通常定価14,978,000円~)

※1 8KB Read:Write=1:1 ランダムアクセス時の性能参考値です。

※2 データ圧縮率がゼロと仮定した場合の使用可能容量です。

※3 仮想化環境における一般的なデータを圧縮した際に書き込める論理実効容量です。TR820の圧縮率は2.2倍を想定しています。

※4 1年間平日保守の費用が含まれています。消費税は含まれておりません。

キャンペーン適用条件

本キャンペーンには、以下二つの条件を満たす場合のみ適用となります。

2017年12月末までにご発注いただき、2018年1月までにご導入いただくこと

初回導入であること

※既にETERNUS TRシリーズまたはTintri社VMstore製品をご導入されているお客様や、2台目以降のご導入には適用できません。

初回導入か否かの確認には、当社営業へお問い合わせください。

尚、確認には2~3営業日要しますので、予めご了承下さい。

従業員へのセルフケアのためのストレスチェックサービス「組織ストレスアセスメント e診断@心の健康SaaS V8 (固定)」を販売開始します。

本商品は、2015年12月1日施行の「改正労働安全衛生法」によって義務化されたストレスチェックを、企業/団体が実施・運用するためのサービスです。

また、「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニュアル」に準拠した運用をサポート。メンタルヘルスの「一次予防」や健康でいきいきと働くことのできる職場づくりに役立てることができます。

【ここがポイント】

①法改制に沿った、企業のメンタルヘルス対策の運用を支援するサービスです。

ストレスチェックの義務化

高度情報化、グローバル化、長期的な景気低迷と雇用環境の悪化などの社会経済情勢の変化により、心の問題に起因する労災認定件数やメンタルトラブル者数は増加する傾向にあり、企業にとって、メンタルヘルス上の理由による休職者にかかる労働コストの損失、労災による企業イメージダウンなど、メンタルヘルス対策が大きな課題となっています。また、国の取り組みとして、労働者がメンタルヘルス不調になることを未然に防止することを目的として「労働安全衛生法の一部を改正する法案※」が国会で成立（2015年12月1日施行）し、今年で2年目を迎えております。

※事業場で50人以上の従業員がいる企業は、ストレスチェックの実施が義務化

@心の健康SaaSの利用イメージ

@心の健康SaaSは、法改制に沿った企業のメンタルヘルス対策の運用を支援するサービスです。

e 診断@心の健康SaaS

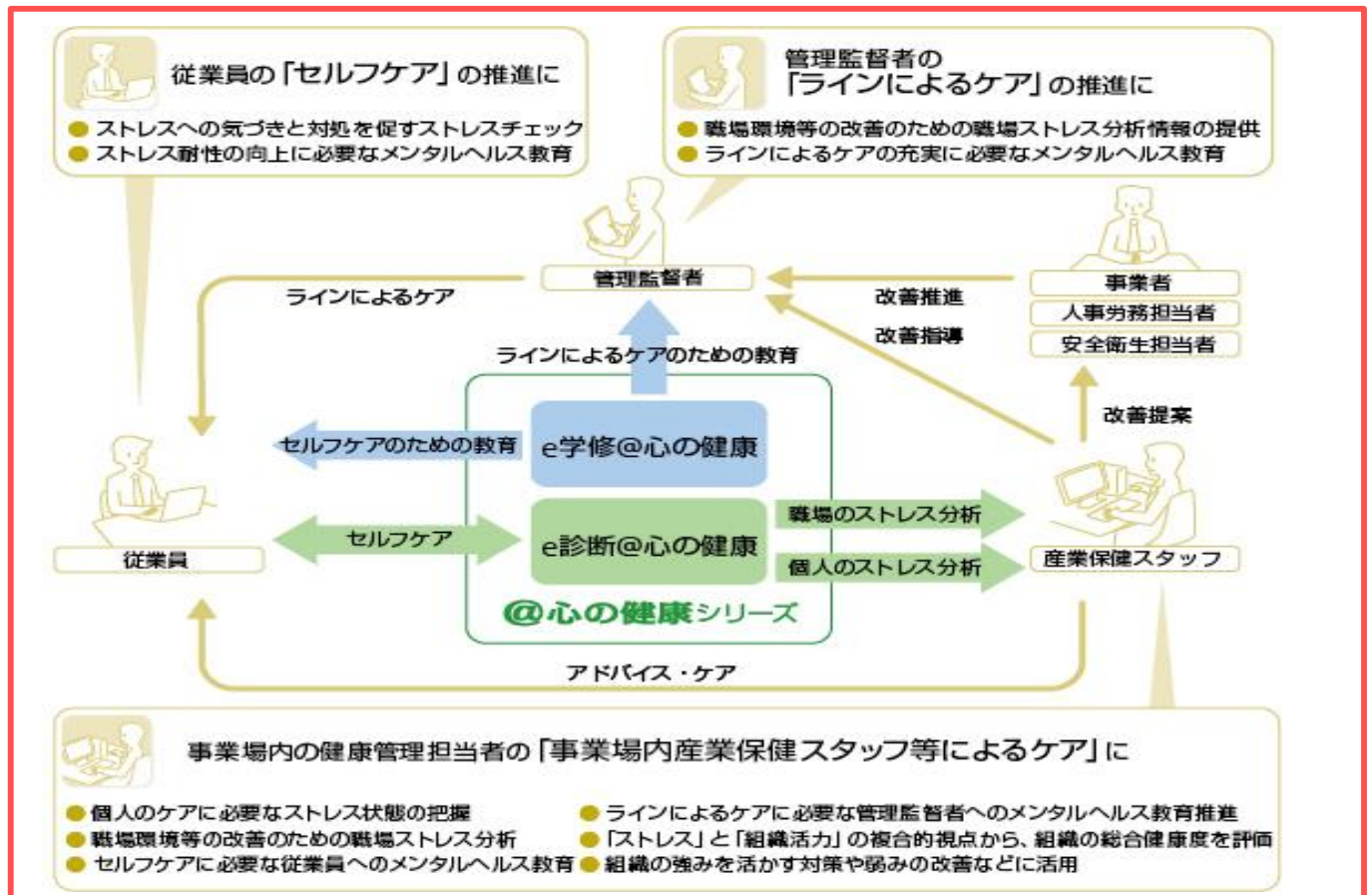
職業性ストレス簡易診断サービス

心の健康支援システム
e診断@心の健康

e 学修@心の健康SaaS

職場のメンタルヘルス学習サービス

メンタルヘルス学習教材システム
e学修@心の健康



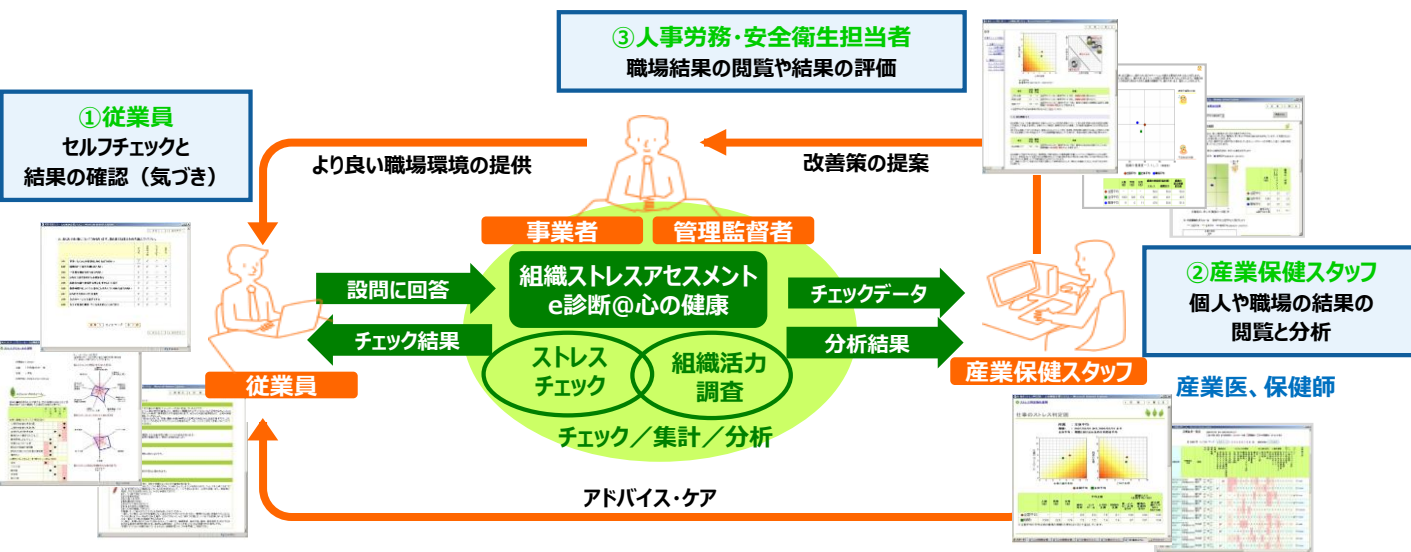
サービスの特長

- 従業員の「セルフケア」のためのストレスチェックと従業員教育を支援
 - ・ ストレスへの気づきと対処を促すストレスチェックと、ストレス耐性の向上に必要なメンタルヘルス教育を支援します。
- 管理監督者の「ラインによるケア」を強力にサポート
 - ・ ラインによるケアのための管理監督者教育から、職場改善のための職場ストレス分析まで、厚労省の「労働者の心の健康の保持増進のための指針」による企業の「心の健康づくり計画」をサポートします。
- システム運用は、手間要らずの「SaaS型」
 - ・ サーバ構築やシステム運用は、富士通グループで実施。お客様はご契約後、最短1週間で利用開始可能です。富士通のセキュリティポリシーに沿ったサービスのため、安心してご利用いただけます。

e診断@心の健康SaaS（職業性ストレス簡易診断サービス）



- ・ 労働者のストレス調査（厚生労働省推奨「職業性ストレス簡易調査票（57問）」を使用）
- ・ 労働者自身のストレスに対する「気づき」の促進
- ・ メンタルヘルス不調者の早期発見
- ・ 職場単位のストレス状況の把握/分析による職場環境の改善
- ・ いきいきと働くことのできる職場、活力のある組織作り対策



価格 1000IDで2ヶ月間、ストレス診断を実施する場合の年間費		
初期設定サービス		20,000円
基本利用サービス	21円/ID×1000ID=21,000円/月×12ヶ月	252,000円
WEB版チェックサービス (1000ID、2ヶ月間実施)	250円/ID×1000ID=250,000円	250,000円
	年間費	522,000円

※)規模により、ID単価が異なります。(最小契約ID数は100ID以上です)

【ご連絡事項】

2017年10月27日に「@心の健康メンタルヘルスセミナー 2017」を開催いたします。

詳細は問合せ先までご連絡願います。

- 開催日：2017年10月27日（金） 13:30～（予定）
- 開催場所：TKP東京大手町カンファレンスセンタ 22G
東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI大手町ビル 22階
- 問合せ先：@心の健康メンタルヘルスセミナー 事務局
担当：津留、横山、竹林（TEL:03-6252-2572）

富士通公開HPでは、製品・サービスに関するお役立ち情報を多数紹介しております。今回はその中から、PCサーバ『FUJITSU Server PRIMERGY』に関するお役立ち情報の掲載サイトを紹介します。ぜひご参照ください。

FUJITSU Server PRIMERGY サーバ消費電力／質量計算ツール

富士通公開HPの検索欄で **PRIMERGY 計算ツール** と検索

<http://www.fujitsu.com/jp/>

プロセッサやメモリ、HDDなどの構成を入力するだけで、サーバの消費電力と質量を計算できるツールです。

- ・ 事務所内にサーバを設置したいけど、ブレーカーが落ちないか心配
- ・ 机の上に設置したいけど、重さで机が壊れないか心配

などの不安がある際に、ぜひお試しください。

ご使用方法

本ツールは構成チェックが厳格ではありません。システム構成図にて構成を確認の上ご利用ください。
各コンポーネントを選択する事で、最下段の結果に合計が表示されます。

プロセッサ

Xeon プロセッサ E3-1220v5 (4コア/3GHz/8MB) 1個

メモリ

メモリ-4GB(4GB 2133 UDIMM × 1)	2	セット
メモリ-8GB(8GB 2133 UDIMM × 1)	0	セット
メモリ-16GB(16GB 2133 UDIMM × 1)	0	セット

内蔵バックアップユニット

DVD-ROM	1	ユニット
データカートリッジドライブユニット	0	ユニット

内蔵ストレージユニット

250GB (2.5インチ BC-SATA 6Gbps 7200rpm)	3	台
500GB (2.5インチ BC-SATA 6Gbps 7200rpm)	0	台
1TB (2.5インチ BC-SATA 6Gbps 7200rpm)	0	台

サーバの構成を選択すると・・・

消費電力／質量確認結果

各コンポーネントを選択すると自動計算され結果に表示されます。

消費電力	質量
設置環境 30度未満の場合 87 W	7.2 kg
設置環境 30度以上の場合 87 W	

消費電力と質量が簡単に計算できる！！

整数演算および浮動小数点演算のシステム性能を測定するベンチマークである『SPECcpu2006』について、様々なPRIMERGYの機種/CPUごとに測定した結果を掲載しています。

- 新しいサーバに移行するが、どの程度性能が向上するか知りたい
- どのCPUが最も性能が出そうかを知りたい

などの際にご参照ください。

- 2011年6月発表以降製品の性能情報
[SPECint2006 / SPECfp2006 測定結果 \(1.35MB\) \[2017年7月26日\]](#)
- 2011年6月発表以前製品の性能情報
[SPECint2006 / SPECfp2006 測定結果 \(2011年6月発表以前\) \(78KB\) \[2011年3月15日\]](#)

PRIMERGY RX1330 M3

2017/5/23現在

CPU Number	# Cores / CPU	CPU Speed	SLC	TLC	TDP	Hyper threading	RAM Type	# CPU	Benchmark	ValueA
G3930	2	2900	256	2048	51	n/a	DDR4X	1	SPECint_rate_base2006	83.8
G3930	2	2900	256	2048	51	n/a	DDR4X	1	SPECint_rate2006	86.2
G3930	2	2900	256	2048	51	n/a	DDR4X	1	SPECfp_base2006	62.6
G3930	2	2900	256	2048	51	n/a	DDR4X	1	SPECfp2006	63.7
G3930	2	2900	256	2048	51	n/a	DDR4X	1	SPECfp_rate_base2006	92.8
G3930	2	2900	256	2048	51	n/a	DDR4X	1	SPECfp_rate2006	94.2
G4560	2	3500	256	3072	54	on	DDR4X	1	SPECint_rate_base2006	123
G4560	2	3500	256	3072	54	on	DDR4X	1	SPECint_rate2006	128
G4560	2	3500	256	3072	54	off	DDR4X	1	SPECfp_base2006	75.3
G4560	2	3500	256	3072	54	off	DDR4X	1	SPECfp2006	76.7
G4560	2	3500	256	3072	54	on	DDR4X	1	SPECfp_rate_base2006	122
G4560	2	3500	256	3072	54	on	DDR4X	1	SPECfp_rate2006	124
i3-7100	2	3900	256	3072	51	on	DDR4X	1	SPECint_rate_base2006	141
i3-7100	2	3900	256	3072	51	on	DDR4X	1	SPECint_rate2006	146
i3-7100	2	3900	256	3072	51	off	DDR4X	1	SPECfp_base2006	91.5
i3-7100	2	3900	256	3072	51	off	DDR4X	1	SPECfp2006	93.7
i3-7100	2	3900	256	3072	51	on	DDR4X	1	SPECfp_rate_base2006	142
i3-7100	2	3900	256	3072	51	on	DDR4X	1	SPECfp_rate2006	146

この値を比較することで、旧サーバからどの程度性能がupするかや、CPUごとの性能差を判断することができる！！

PRIMERGYは、工場出荷時に最も一般的名アプリケーションシナリオ向けに、性能と消費電力が最適な比率となるBIOS設定を行っています。しかしながら、用途によっては消費電力を犠牲してでも性能を出したい、または消費電力を最優先にしたい、などの要望があると思います。

いくつかの利用シーンを想定し、工場出荷時とは異なるBIOS設定を行うための推奨設定を紹介しています。

- [Xeon E5 v4 & E7 v4 搭載システムのための BIOS 最適化 \(v1.0a\) \(740KB\) \[2016年10月4日\]](#)
- [Xeon E5-2600 v3搭載システムのための BIOS 最適化 \(v1.1\) \(722KB\) \[2015年3月24日\]](#)
- [Xeon E5-2600 v2搭載システムのためのBIOS最適化 \(v1.2\) \(733KB\) \[2015年3月24日\]](#)

表 1: BIOS オプションの概要

BIOS セットアップメニュー	BIOS オプション	設定 ¹⁾	パフォーマンス	低レイテンシ	エネルギー効率
Advanced > PCI Subsystem Settings	ASPM Support	Disabled L1 Only	Disabled	Disabled	L1 Only
Advanced > PCI Subsystem Settings	DMI Control	GEN 1 GEN 2	GEN 2	GEN 2	GEN 1 ²⁾
Advanced > CPU Configuration	Hyper-Threading	Disabled Enabled	Enabled	Disabled ³⁾	Enabled
Advanced > CPU Configuration	Active Processor Cores	0 (All) [1 - n]	0 (All)	1 - n ⁴⁾	0 (All)
Advanced > CPU Configuration	[Hardware] [Adjacent Cache Line] [DCU Streamer] [DCU In]	Enabled Disabled	Enabled	Enabled	Disabled ⁵⁾